



大阪労災病院  
がん患者と家族の会

# 「いたわり」会報誌

# 創刊号

2020年09月号

## ～がん患者会「いたわり」会報誌 創刊にあたり～

新型コロナウイルスの影響で、各種会合の開催がまだ困難な状況から、今般、がん相談支援センターの看護婦さんの発案により、患者会「いたわり」の会報誌を発刊することになりました。

労災病院のがん患者会「いたわり」は、患者が医療者を通してではなく、患者と患者(経験者本人)、病気の当事者として経験を伝えることにより課題を解決できる、そして、さみしさや悲しみを共有でき、それを超え、笑顔に変えていく仲間づくりを目指しています。

労災病院のがん患者会は労災病院に通院されているがん患者さんやご家族の方のみならず、他病院に通っておられる方であっても参加可能です。

リアル患者会が開催できない現状、このような紙面での皆様とのかかわりとなりますが、ご意見やご要望、不安ごと、経験談など、些細な出来事でも構いません、ご提案等いただき、紙面の活性化(個人を特定できる情報等は掲載しません)、患者会の活性化にご協力おねがいします。

患者会世話人代表 阿部浩之

## ポピーの広場(患者さんのお話)

労災病院とは数年前、しこりを見つけてからのお付き合いになります。そして当時は'患者会'というものはまだありません。告知後、どちらかという陽気な私もやはり不安はつきませんでした…。そして今、'いたわり'陽だまり'2つの患者会があります。私も毎回聞きたいこと、そして聞いてもらいたいことも同じ病を持つ仲間と一緒に共有し、笑いながら、時には涙ぐみながら大事な時間を過ごさせていただいています。

現在コロナ禍も加わり、不安をお持ちの方々…いらっしゃると思います。是非、患者会に参加してみませんか？少し勇気がいるかもしれませんが、でもスタッフの方々は皆さん気さくで話しやすいので垣根は低いですよ！勿論私達も仲間が増えるのは大歓迎！！心よりお待ちしております。

文:H.M

ポピーの花言葉は「いたわり」です。みなさんが集いやすいように「ポピーの広場」としてがん患者さんやご家族の声を届けていきたいと思っています。



2017年5月に乳がんのため乳房全摘と同時再建手術をしました。それまで、がんについての知識もなく、「手術でとったらそれで治る」と思っていました。先生から説明をうけ、がんの治療は長期戦だと知ります。告知後は、重大なことの決定が続きますが、どこか他人事のような感じがしていました。手術が終わって、ようやく実感が出てきて将来の不安を感じるようになりました。そこで、以前から楽しみにしていた格闘技観戦のため、一時退院の許可をいただきました。術後は体力が落ちると聞いていましたが、予想以上でした。観戦に向けて、電車に乗れるのか？人ごみを歩けるのか？そもそも4時間座っていられるのか？と自問自答です。その時、自分は好きなことのためなら必死に頑張れるタイプだと知ることができました。

陽だまり会やいたわり会でいろんな方とお話すると、皆様それぞれの楽しみをもっておられます。そんなお話を聞くのも元気や勇気をもらえるきっかけとなります。コロナ禍で集まることができない状態ですが、このような会報誌を通して皆様のお話や近況を聞かせていただくと嬉しいです。

文:T.K

## ～「いたわり」会報誌創刊に寄せて～

新型コロナウイルスの影響により、大阪労災病院でも院内外の各種行事が中止や延期となっています。がん患者さんは免疫力が低下した状態であるため、コロナに感染する可能性が高いと想定されています（参考：がん診療と新型コロナウイルス感染症、[https://www.jsmo.or.jp/general/coronavirus-information/qa\\_3gakkai.html](https://www.jsmo.or.jp/general/coronavirus-information/qa_3gakkai.html)）。患者会「いたわり」の皆様においては、さぞや心労も多いと推察いたします。

感染を避けるためには、密集・密閉・密接のいわゆる三密を避けること、手洗い、マスク着用の基本的な予防行動が勧められます。しかし、コロナのために人と密接にふれあう貴重な機会が失われるのは、我々にとって大きな損失ですし、精神的にもつらいことです。

大阪労災病院としては、直接にお会いすることはなかなか難しいにせよ、がん患者さんおよびご家族となんらかの形でつながり続けたいと考えています。そのため「いたわり」会報誌を創刊することとなりました。ご意見や要望あるいは体験談等ご寄稿いただければ幸いです。



コロナの感染が一刻も早く収まり、皆様が気兼ねなくがん患者会「いたわり」に参加できるようになることを心から願っております。また体調をくずされないようくれぐれもご自愛ください。

大阪労災病院 がん相談支援センター センター長 西池季隆

「コロナにリアット」  
イラスト作：Kさんのご主人

## 2019年度「いたわり」活動報告

がん患者会「いたわり」	
4月26日	新緑の会 ～お外でおしゃべりをしましょう～ 参加者：11名
6月28日	ゲーム大会 ～笑って免疫力を高めましょう～ 参加者：15名
8月23日	がんと食事 講師：竹谷栄養士 外部講師：山下 伸子さん 参加者：18名
10月25日	最新の免疫療法 講師：廣瀬薬剤師 参加者：21名

毎回20人前後の方に参加頂き、みんなで楽しく和気あいあいと交流しています。昨年度は4回開催致しました。

金岡公園でお茶をしたり、ゲームや勉強会をして、がんであることのつらさや大変さを共有しながら、みなさんで支え合っています。堅苦しくなく、参加された方が笑顔になれるような会です。

今年度はコロナの影響で今なお開催できていませんが、会員を募集しております。みんなで労わり合って困難を乗り越えていきましょう！  
ぜひ、ご参加下さい。

## 「いたわり」会員 および 会報誌 掲載記事 募集

がん患者さんやそのご家族の方であれば、どなたでも「いたわり」に参加可能です。みんなで支え合う会ですのでご興味のある方はぜひ一度ご参加ください。会員登録はがん相談支援センターで受け付けています。

また、がん患者さんやそのご家族が元気になるような記事を募集しています！！ コロナ禍で思うことや、日常生活での工夫、クスッと笑えるエピソード等 なんでも構いません、頑張っておられるみなさんにメッセージをお願いします。

<投稿方法および問い合わせ>

原稿をがん相談支援センターまでメール、郵送または直接ご持参ください。原稿内容を確認し、審査の上掲載させていただきます。

大阪労災病院 がん相談支援センター  
住所：〒591-8025 堺市北区長曾根町1179-3  
MAIL: [nandemo@osakah.johas.go.jp](mailto:nandemo@osakah.johas.go.jp)  
TEL: 072-252-3561